

# 私が思う剣道の魅力

山口県

西岐波少年剣道教室

中学3年 木村優那

私が剣道を始めて二年半が過ぎようとしています。先輩のかっこいい姿に憧れ、何も分からず飛びこんだ世界でしたが、その魅力には計り知れないものがあります。

その魅力の一つは、自己と向き合うことにより内面が成長するということです。私の場合は、きつくても頑張る心を持つことが出来たと思います。例えば、合同練習の稽古がきつい時逃げようとする自分の気持ちに「頑張ったら強くなる」と言い聞かせ、乗り越えてきました。今思えば、頑張ってきた自分が誇らしいような気持ちになります。

また面を付けると、初めは重く動きにくいなと思っていました。しかし、慣れてくると面を外す時に、何とも言えない爽快感を味わえるようになりました。剣道は、一見きついと思われることもたくさんあります。けれど、そこに立ち向かい、自分を励まし、目標を達成した時たくさんのご褒美が自分にやってきます。このような、外からは分からない内面的な自己の成長を感じられることが、剣道の魅力だと思います。

また剣道は、他人ではなく自分との戦いであることも魅力の一つだと思います。私は正直に言うと試合というものが好きではありません。試合はどうしても、勝ち負けにこだわる面が出てきてしまうからです。もちろん剣道の試合で勝敗は決められるし、私も相手から一本取ることが出来れば嬉しいと感じます。しかし、他のスポーツと違うのは、試合に負けてしまったとしても自分に納得が起これば心が穏やかでいられるということです。

私は中学二年生の頃、試合で負けてしまったのにも関わらず、とても清々しさが残ることがありました。そのような時は必ず、基本に忠実に取り組み、自分の判断力を信じて思いきり動くことが出来た自分に納得している時だと気づきました。このように結果に関係なく、自分次第で喜びを感じられるところも剣道の魅力です。

最後にもう一つ剣道の魅力を挙げるならば、それはその立ち姿にあります。道着を着て、面、胴、垂れを付けるとどこことなく気持ちがシャキッとします。そして、日本の文化として今も剣道が続いていることに誇りを感じます。西洋から入ってきたスポーツも楽しくて好きですが、それらにない凛とした気品が剣道にはあると感じます。

私は剣道という日本の文化に触れ、その魅力を少しでも感じる事ができて幸せです。毎回の稽古では、先生が厳しい中にも常にユーモアをもって楽しく指導して下さいます。

私の通っている教室では、幼稚園から大人の方までが楽しく稽古に励んでいます。私が小さな子の相手になることもあれば、逆に私が大人の方にご指導を頂くこともあるような環境です。このように老若男女、交わって稽古できるところも剣道の魅力だと感じます。

「剣道を習っている」と他人に伝えると「すごいね」と必ず言われます。確かに防具は重く、夏は暑いし、冬は足が凍えるほど冷たくなります。けれども目に見えない魅力がたくさんあり、「鍛錬」という言葉がピッタリだと思います。

このように剣道でいろいろなことを思い、学ばせて頂いている先生方、いつも陰で励まし、そして支えてくれる家族にはとても感謝しています。剣道をやっている、剣道に出会って本当によかったと思います。

これからも剣道の魅力を感じ、楽しみ、そして、いつかは剣道を自分の魅力にしていけるよう歩み続けたいです。